

青き楓

島高だより
第6号

長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

第五十七回生 夢実現への旅立ち



と御協力があったからだと思えます。本当にありがとうございます。

「高校三年間は修行の身である。」といわれまます。苦しさに立ち向かっていく精神力とそれを克服していくこうとする努力が人を大きく成長させていく原動力ではないでしょうか。島原高校の三年間は生徒にとっても保護者の皆様にとっても決して楽なものではないと思います。しかし、生徒達が部活動や進路面で目標を達成できたときの喜びと笑顔は何物にも代え難いものがあります。その日を迎えるためにも「今なすべき事」を見据えた生活を送る事が大切だと思います。

三月一日、島原高等学校第五十七回生三二八名が卒業しました。それぞれの生徒が三年間、学習や部活動に努力を続け、晴れやかな気持ちで母校を後にしてくれたものと信じています。そして、素直で誠実な人間性を持って巣立っていく生徒の後ろ姿に、「これからも頑張れよ。」とエールを送りたいと思います。

この三年間は早朝補習や放課後補習、休日の模擬試験や部活動の遠征にと忙しい毎日の中で苦しくて潰れそうになった事もあったでしょう。しかし、それぞれの生徒が学習や部活動の両面で素晴らしい結果を残してくれました。これは、自分のやるべき事をしっかりと見つめて、躓きそうになりながらも自分の足で着実に歩んできた成果だと思えます。また、保護者の皆様の御理解



進路指導部から

平成十六年度 進路状況(中間報告)

先日平成十七年度入試国公立大学前期入試合格発表も終わり、今年度の進路状況の中間まとめができる段階になりました。以下に現役(五十七回生)の状況を報告します。

大学

- 国立大学 九八名
- 公立大学 十四名
- 私立大学 二六三名
- 準大学 六名

短期大学

- 国公立短大 五名
- 私立短大 十四名

各種学校・就職

- 高等看護学校 六五名
- 専門学校 四〇名
- 就職・その他 十三名

※参考：過年度生(把握分のみ)

- 国立大学 一名(医学部医学科一名)
- 公立大学 一名
- 私立大学 八名

※主な合格校(現役のみ)

- 東京大 一名 京都大 一名
- 大阪大 一名 東京工業大 一名
- 北海道大学 一名
- お茶の水女子大 一名
- 神戸大 一名 筑波大 二名
- 九州大 九名 広島大 三名
- 長崎大 十七名 熊本大 十一名
- 国立医学部医学科 二名
- 国立薬学部 一名 防衛大 一名
- 青山学院大 一名 慶応大 一名
- 国際基督教大 一名 中央大 一名
- 津田塾大 一名 明治大 一名
- 早稲田大 三名 南山大 一名
- 立命館大 九名 関西大 一名
- 関西学院大 一名 西南学院大 四名
- 福岡大 二七名 久留米大 一〇名
- 中村女子大 三名 長崎純心大 七名
- 活水女子大 六名

第二学年から

いよいよ二学年も残すところ、あと二週間余りとなりました。二学年では、この三学期を三年〇学期と位置付け、三年生のスタートを気持ちよく切れるように準備を整えてきました。今学期は大きな試験や模試が多く、進路について考えたり受験を意識したりする機会が増えました。特に二月の進研模試は、初のマーク形式であり、文理ともに九百点満点(文系は六教科七科目、理系は五教科七科目)で受験をし、進路を見据えた学習が大切であることを意識したようです。

三月一日の卒業式で三年生を見送ってからは、最高学年を迎える自覚も日に日に高まってきました。来年度は、島原高校を中心となつて引張っていく学年であると同時に、自らの進路を決定する大切な一年になります。五十八回生全員が三年を会心の出来でスタートできるように、サポートしていきたいと思えます。

第一学年から

昨年の四月に初々しい表情を見せていた一年生も、すっかり島高生の一部として溶け込み、二年生として新たな一年を迎える立場になりました。日常のハードな授業や補習、模擬試験、部活動、雲仙合宿に始まる高総体、ボランティア活動、体育祭などの行事活動を通して、時折疲れた表情を見せながらもやる気はキリッと引き締まった面を感じます。

一年生の教室から見て中庭を挟んだ向こうに、真剣に受験勉強に取り組む三年生の表情を見ることが出来ます。教員団が何も言わなくても、彼らは何かを感じ取り自然と成長しているのでしょうか。それが長い伝統のもと受け継がれた島高魂なのかもしれません。

中堅学年として、ますます忙しい毎日が始まるうとしていきます。レベルアップする学習内容、行事や部活動では中心として動かななくてはなりません。一年間で頼もしく

なつた彼らならば、すんなりと乗り越えていくと確信しています。

合格おめでとう

三月八・九日に実施された公立高等学校入学者選抜試験の合格発表が三月十七日(木)に行われました。

生憎の雨にも拘らず、九時三十分の発表前から多数の中学生が駆けつけていました。

泣き出した中学生のグループもいました。彼らの今後の活躍を期待したいと思います。



校長室から

旅立ち、出会い

柳川伸一

梅白しまことに白く新しく
立子

こののほか、厳しい寒さが続いた三月でしたが、本格的な春が待たれるころです。本校でも去る三月一日、三年生三二八名が島高で学んだ誇りと夢の実現に向けての希望を胸に抱いて旅立ちました。第五十七回生諸君は校是「文武両道」の実現を目指して三年間汗を流してきました。その精進の成果が嬉しいニュースとして職員室の先生方に続々と飛び込んできています。先生方と笑顔で握手する生徒の姿は、いつ見ても感動的です。第五十八・第五十九回生の諸君も、きつと後に続いてくれるものと確信しています。

旅立ちの後は新たな出会いの時期となります。在校生はそれぞれ進級します。これからは「当たり前のこと」を、ほんやりせずに、ちゃんとやっていく。島高教育の推進を図ってまいります。今後とも保護者の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

マラソン大会

今年も恒例の校内マラソンが一月二十七日(木)に開催されました。この大会は生徒の全身持久力の発達を図りながら強い意志や忍耐力を養成し、あわせて自己の体調管理能力を高めるために行っています。コースは島原市宮陸上競技場及びその周辺で男子8.0km、女子5.0kmのコースを設定しています。心配していた風邪等の流行もなく大会を迎えることができましたが、当日は雲が厚く、気温の低下による病気を心配していました。結果的には大きな事故や病気もなく無事に終了することができました。また、この日は完走を目標に必死に走る生徒たちや運営面で黙々と取り組む生徒たちの姿を見ることもでき、改めて島高生の素晴らしさを再確認することができました。

3月の主な行事予定

- 23 (水) 合格者・保護者同伴登校(オリエンテーション)
- 24 (木) 大掃除・終業式・離任式・学年集会
- 25 (金) 登校自学(午前中)
- 26 (土) 登校自学(午前中)

4月の主な行事予定

- 1 (金) 新入生オリエンテーション・部紹介
- 5 (火) 登校自学(午前中)
- 6 (水) 登校自学(午前中)
- 8 (金) 大掃除・新任式・始業式・HR/入学式(午後)
- 9 (土) スタディサポート(1・2年)・土曜講座(3年)
- 11 (月) 学年集会・LHR・諸調査・学級役員選出
課題テスト(1年)・校内実力テスト
- 12 (火) 早朝補習開始(2・3年)・学年集会・地区別集会/登校指導(～15日)
PTA学級役員と地区役員の投票開始
- 13 (水) 学級合宿(2年)開始
- 14 (木) PTA学級役員と地区役員の投票締切
- 15 (金) 通学方法別集会/公務員模試(3年)
- 16 (土) 基礎学力テスト(3年)
- 18 (月) 貧血検査/個人面談期間一短縮授業(～22日)
- 19 (火) 雲仙合宿研修(1年:～22日)
- 25 (月) 1年早朝補習開始
- 26 (火) 部活動集会
- 28 (木) 歓迎遠足
- 29 (金) みどりの日/小論文模試(3年)

(生徒感想)

二年六組 本田翔大
今年で二回目のマラソン大会だった。当日は気温が低く身体が動くか心配だったが、なんとか8.0kmのコースを走りきることができた。順位は昨年と同様に一位だったが、昨年よりもかなり疲れた感じがした。

一年六組 山田理沙
大会当日のコースは、想像以上に起伏があり、5.0kmという長距離でもとてきつかったです。それでも後ろから追ってくる中学校時代のライバル二人には絶対負けないという気持ちで走り続けました。走り終えた後は友達と達成感を分かち合うことができ、とても楽しかったです。この大会でつけた体力や精神力を今後の部活動や勉強に生かしていきたいと思えます。

マラソン大会成績一覧

【二年男子】		【二年女子】	
一位	五組 末吉 勇介	一位	六組 山田 理沙
二位	一組 麻生 邦義	二位	一組 山田 香菜
三位	五組 岩村 康広	三位	五組 本村 綾美
四位	三組 北田 亮佑	四位	六組 植木 夏緒里
五位	一組 松本 典将	五位	二組 大久保めぐみ
六位	七組 佐藤 慶之	六位	一組 本多 南美
七位	七組 白倉 靖和	七位	四組 内田 彩佳
八位	二組 坂本 義章	八位	二組 島田 小百合
九位	四組 佐藤 貴紀	九位	一組 松本 珠希
十位	五組 大場 真司	十位	七組 坂本 佳奈
一位	六組 本田 翔大	一位	五組 本多 静香
二位	二組 小林 哲也	二位	三組 兼田 千聖
三位	七組 田浦 喜裕	三位	二組 廣瀬 友美
四位	二組 山口 紘範	四位	二組 中尾 真帆
五位	七組 高崎 歩	五位	一組 村田 侑加
六位	一組 山本 和仁	六位	二組 横田 佳奈
七位	出田 諭央	七位	一組 宮崎 彩
八位	水田 英亮	八位	二組 松田 麻央
九位	下田 勇氣	九位	原 かおり
十位	加藤 大喜	十位	吉岡 沙樹

理科から

理科一、二年生「市民講座」に参加

二月二十六日の土曜講座終了後、理科一、二年生は島原復興アリーナにおいて開催された市民講座「マグマの火道を掘り抜く!」に理科一、二年生が参加しました。この講座は東京大学地震研究所の中田節也教授が中心となって行った「雲仙普賢岳の科学掘削」で得られた成果を発表する内容で、中田教授をはじめ、企業や民間の研究所の研究者、アラスカ大学の教授なども説明に加わりました。

地元普賢岳の噴火を機に、科学の粋を集めて実施された研究の発表に生徒達も熱心に耳を傾けていた。地学分野の研究であり、普段授業では触れないような内容であるだけに、生徒の一人は「今日の講座で地球内部についての興味が湧いてきた。近くに九大の火山観測所もあると聞いているし、機会があったら行ってみたい。」と話していた。九大火山観測所には理科で近く訪問する予定です。

生徒会から

今年度の活動より

平成十六年度の生徒会活動は、復活した新入生歓迎遠足の準備から始まり、転入して来られた先生方の自己紹介、応援部によるエール指導、クラス対抗綱引き大会を行い、新緑の中で気持ちの良い一日を過ごしました。六月には宮元明彦君が新任委員長となり、二十名の新執行部が誕生しました。

七月の校内球技大会は、また要領のわからない新執行部に代わり、準備から運営まで旧執行部が中心となって取り組みました。

九月には小文化祭を行いました。今年度は「例年ない企画を取り入れてもっと盛り上げよう」と、



準備段階から大変熱が入り、結果も大成功でした。

十七年度は三年に一度の青楓祭(大文化祭)です。一般公開も予定していますので、さらに充実したものにと考えています。

【募金活動】
本校では毎年「歳末助け合い共同募金」に協力して、街頭募金を行っており、今年度も十二月十五日(水)、十六日(木)に市内四カ所で行いました。生徒会執行部と進路が既に決定した三年生および自主的に参加してくれた部活動生が、冷たい風の吹く中、懸命に募金への協力を呼びかけてくれました。

二日目は、終了予定時刻になっても「もう少しやらせてほしい」という声が聞かれるほどの熱の入りのようでした。皆様の善意のおかげで今年も沢山の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

また、今年度は新潟県中越地震災害とインド洋津波災害も発生し、この二つの災害に対しても校内募金活動を行い、義援金を送りました。

第二十三回島原半島文化賞に本校合唱部受賞

三月十九日(土)第二十四回康平忌・第二十三回島原半島文化賞授賞式が島原城本丸の観光復興記念館で催された。今回は個人の部で近藤義昭(本校同窓会副会長)氏、団体の部で本校合唱部が受賞した。合唱部部長の関祥平君が「多くの先輩たちと、地域の方々の応援のおかげで受賞できた。これからも全国舞台で演奏できるよう練習に励み、人々の心を動かす音楽を目指したい」と謝辞を述べた。その後の康平忌では、合唱部が「島原の子守唄」と「宇宙戦艦ヤマト」を披露した。

